

富の先にあるもの

本質的な投資家の
在り方 — TAOISM

世界には「お金を増やす天才」がいます。
しかし「お金の使い方で世界を変える人」
は多くありません。

「自分と家族は必要なものも
欲しいものも失わずに、
資産の大半を寄付できる。
そして、それ以上を持っていても
幸福は大きく変わらない。」

ウォーレン・バフェット
(寄付総額600億ドル超)

限界効用の理解



ある一定を超えた富は、自分のために使うよりも、他者や社会に流した方が価値が高くなる。

富の「質」が変わるポイントが存在する。



「何でもできるだけの資産は残す。
しかし、何もしなくても
生きていけるほどは残さない。」

相続の思想。守られすぎた環境は、可能性を奪う。

主体性と可能性

選択肢の喪失

バッフェット・ゾーン：適度な制約

主体性の喪失

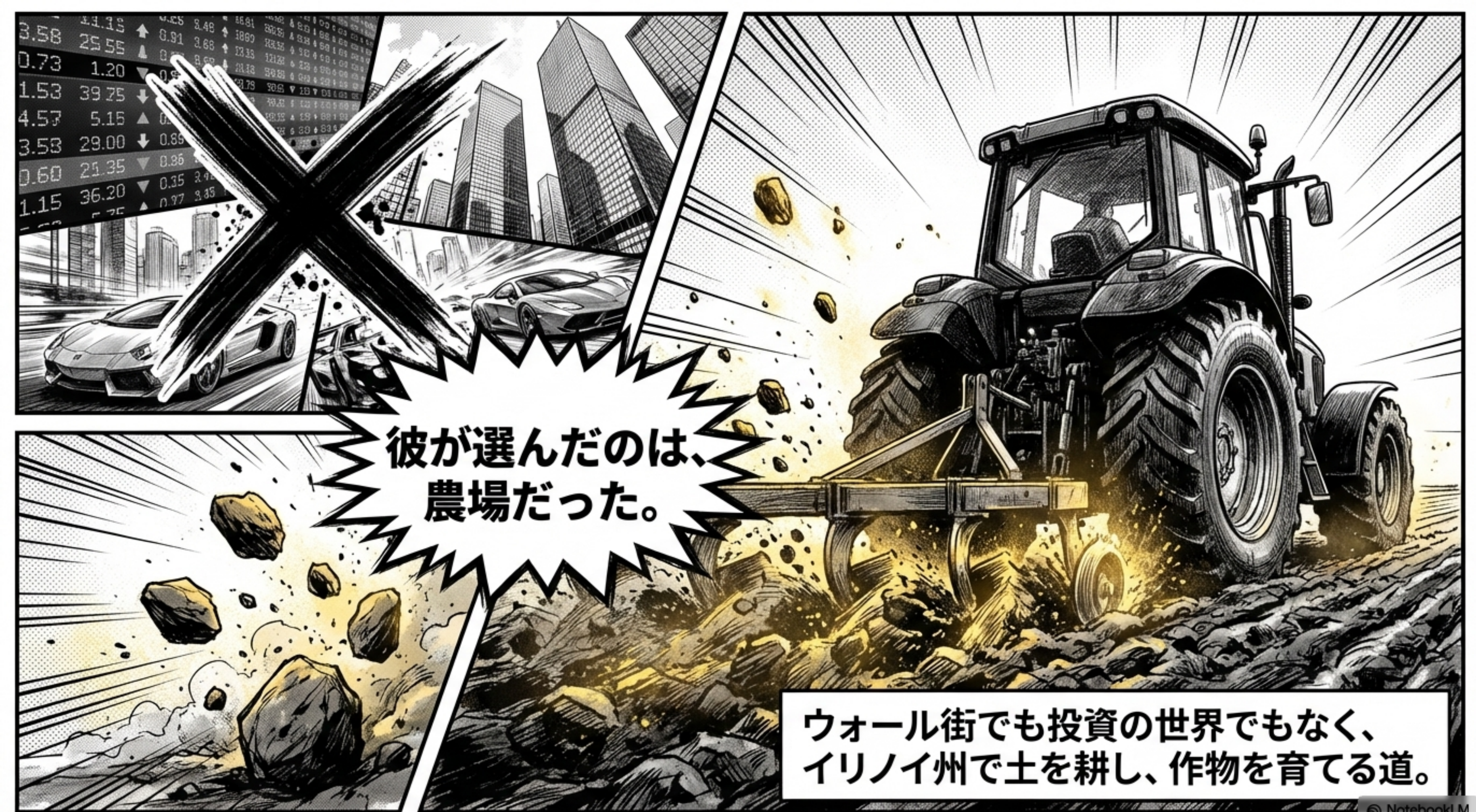
与えられる資産

適度な制約こそが、人の主体性を生み出す。

もしあなたが10億ドルを 与えられたら、何を選びますか？



多くの方はリタイアを考えるでしょう。
しかし、ハワード・グラハム・バフェット
は違いました。



彼が選んだのは、
農場だった。

ウォール街でも投資の世界でもなく、
イリノイ州で土を耕し、作物を育てる道。

Snapshot 1



肩書きではなく「行動」。
資産ではなく「在り方」。


食料問題と
紛争地域の復興

Snapshot 2



マコン郡の保安官

大富豪の息子でありながら、補助保安官として自ら最前線の現場に立つ。ここに本質がある。



人のために動くことが、自分のためになる

相補性

自分のために動くことが、人のためになる

TAOISMの教え。この循環が成立している状態こそが、
本質的な投資家の姿である。

従来の富裕層

リタイア

本質的な投資家

目的
ゴールとしての富

選択の自由を得る手段

行動
リタイア・消費

価値を見極め、資源を再配置する

抛り所
肩書きと資産

行動と在り方

投資とは、単にお金を増やす行為ではない。
未来を創る行為だ。

富の先に、何を置くのか。

楽を選ぶのか。

意味を選ぶのか。

自由を手にしたとき、人は本質を問われる。
安心、快樂、名声、影響、貢献…答えは人それぞれだ。

自分で選んだ道だけが、納得を生む。

そして納得の積み重ねが、人生の質を決めていく。その問いこそが、本当の投資の始まりです。

